

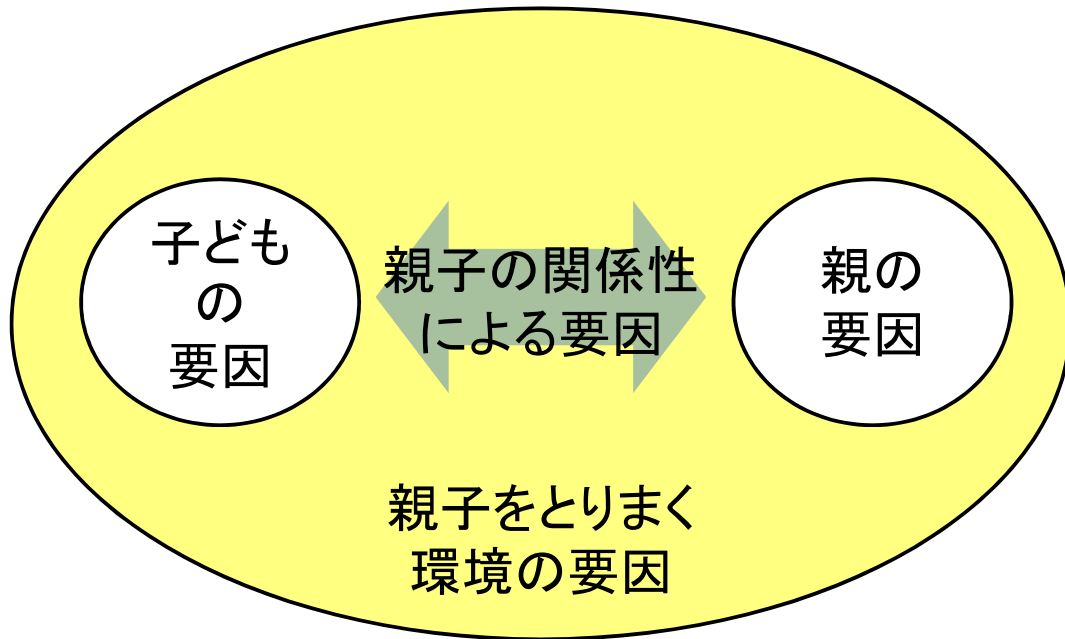
「育てにくさ」と 「育てにくさ」に寄り添う支援

あきやま子どもクリニック
秋山千枝子

「育てにくさ」とは

- 子育てに関わる者が感じる育児上の困難感。
- その背景は、下記のような多面的な要素を含む。
 - (1) 子どもの要因
 - (2) 親の要因
 - (3) 親子の関係による要因
 - (4) 親子をとりまく環境の要因
- 「育てにくさ」の概念は広く、一部には発達障害等の障害や疾病が原因となっている場合がある。

「育てにくさ」の要因



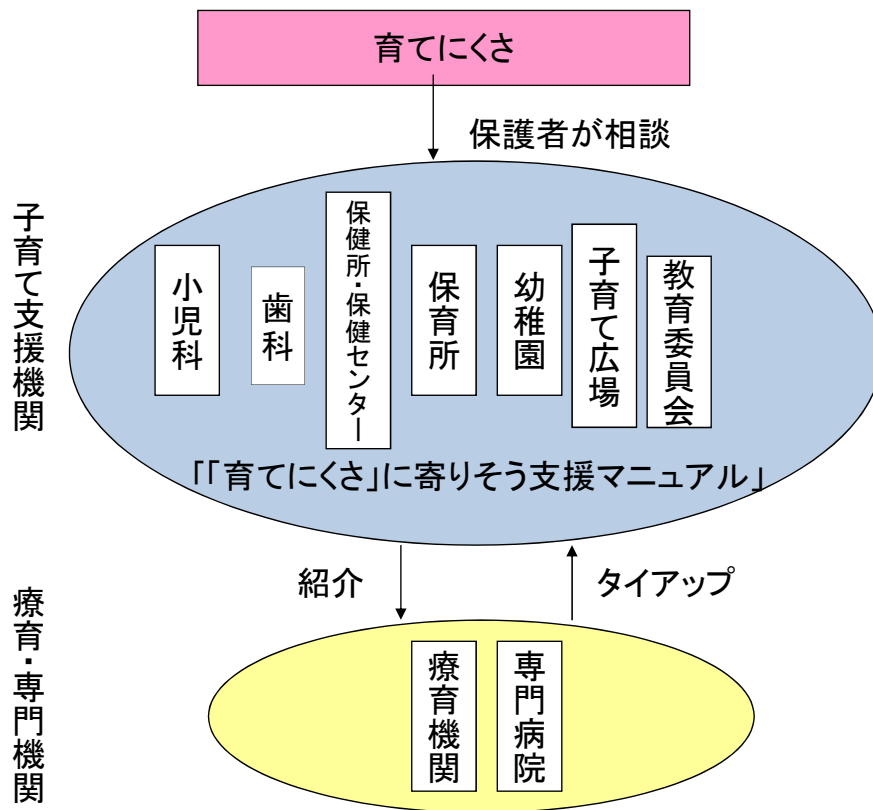
「育てにくさ」に寄り添う支援

親子が発信する様々な「育てにくさ」のサインを受け止め、丁寧に向き合い、子育てに寄り添う姿勢が必要である。

「育てにくさ」の支援目的

1. 親子関係の樹立と愛着関係の形成
2. 親・家族の「子育て力」を育む
3. 発達障害等の障害や疾病の早期発見
4. 児童虐待の未然対策

「育てにくさ」の相談場所



「育てにくさ」の例

抱いたときしっかりしがみついてこない

○子どもの要因

- ・運動発達の遅れ、知的発達の遅れ、感覚のアンバランスなど発達の課題
- ・脳性麻痺などの疾患や発達障害などの障害の存在 など

○親の要因

- ・子育てに慣れていないため、抱き方が不適切
- ・精神疾患により、他者とうまく関われない など

○親子関係の要因

- ・愛着形成が不十分
- ・コミュニケーションがうまくとれない など

○親子をとりまく環境の要因

- ・抱き方や子どもの扱い方を教えてくれる人がいない
- ・騒がしいなど、親子の気持ちが落ち着かない住環境の課題 など



「育てにくさ」の支援例

抱いたときしっかりしがみついてこない

○初期の対応例

- ・運動発達状況や、可能であれば筋肉の緊張の度合いを確認
- ・アイコンタクトや情緒的なコミュニケーションがとれているか確認
- ・親の育児に関する困り感や自信、虐待のリスクなどを確認
- ・家庭状況や支援状況の確認 など

○要因ごとの対応例

- ・子どもの要因 ⇒ 赤ちゃん体操や遊びの指導、専門機関へ紹介 など
- ・親の要因 ⇒ 保健所・保健センターで親支援、専門機関へ紹介など
- ・親子関係の要因 ⇒ 子育て広場、親子教室、保育所の子育て支援など
- ・親子をとりまく環境の要因 ⇒ 子ども家庭支援センター、地域福祉課、ファミリーサポートなど

経過にあわせて、様々な資源を組み合わせ、
子ども・家族にふさわしい支援を提供する。

(参考) 「育てにくさをもつ子どもたちのホームケア～家族ができる取り組みと相談のタイミング」監修:小枝達也、編集:秋山千絵子、橋本創一、堀口寿広
「「育てにくさ」に寄り添う支援マニュアル～子どもの育てにくさに困った親をどうサポートするか」監修:小枝達也、編集:秋山千絵子、橋本創一、堀口寿広